

日本神経生理検査研究会平成 21 年度総会 議案書

平成 21 年 7 月 30 日 全国講演会終了後 20 : 35 予定
於：横浜市開港記念会館

会長挨拶

会員の皆様におかれましては、ますますのご清栄お慶び申し上げます。
遅くなりましたが、21 年度総会の議案書が出来上がりましたので、ホームページ上で
会員の皆様にご報告させていただきます。

議案書はご閲覧の上、総会に参加できない会員におきましては、委任状*を下記要領にてメールもしくはFAXなどにて期日にまで提出していただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

ここで、議案書につきまして、若干の説明を致します。

1) 人事につきましては、議案書に示したとおりですが、執行部の事務局長は藤元佳記氏に代わり、瀬川義朗氏をお願いしました。

また、評議員は原則として執行部および会員数や地区の現状をよく把握している地区代表者より構成し、会長が会に対して必要と認めた若干名を加えた 12 名としました。

2) 会則の細部について改正を提案しました。

2-1) 会計年度は社会的な年度に合わせ、勤務先変更などをスムーズにするため、毎年 4 月 1 日より 3 月 31 日までとしました。

2-2) 会費徴集について前納制を明記しました。

3) 地区制度は全国組織の基本であり、臨床神経生理学会が認めている要因で継続と致します。

4) 会計は提示させていただいた通りであり、20 年度の決算は会計監査に報告し、承認を得ております。

以上、簡素ではありますが、主な変更点などの説明をさせていただきました、今回は、会則改正が沢山ありますので、詳細は議案書をご覧下さるようお願い申し上げます。

なお、本議案書は評議委員会におきまして承認されております。

さて、当会は皆様のおかげを持ちまして、日本臨床衛生検査技師会や日本臨床神経生理学会の生涯教育および認定制度などに関わることができました。このことは当会の1つの目標でもありましたので、達成できたことは会員の皆様に心から感謝申し上げます。

以上のことを踏まえ、われわれ執行部と役員一同は、今後も当会の発展のために努力して参る所存であります。また、会員の皆様も当会を一層盛り上げていただけますようお願い申し上げます。

(高橋 修)

*[註] 委任状について

締め切り期日:メールは、7月30日12:00、FAXは7月29日24:00、出席会員へ手渡しOK。

宛先(1)メール:事務局瀬川<k1segawa@tenriyorozu-hp.or.jp>, もしくはメーリングリスト登録されてます会員は<nerve@umin.ac.jp>宛でもOKです。

宛先(2) FAX 0743-62-0525 天理よろづ相談所医学研究所 瀬川義朗まで。

なお、委任状は、本議案書の最終ページに掲載しております。切り取りもしくはコピーペーストにて、必要事項を記入の上送付して下さい。

総会式次第

- 1.開会の辞 (水野)
- 2.会長挨拶 (高橋)
- 3.議長選出 (水野)
- 4.書記任命 (石郷)
- 5.平成 20 年度事業報告 (高橋)
- 6.平成 20 年度会計報告・監査報告 (水野)
- 7.平成 20 年度事業報告・会計報告の採択
- 8.平成 21 年度事業計画案・予算案 (高橋)
- 9.平成 21 年度事業計画案・予算案の採択
- 10.一般議題
 - 1)日本神経生理検査研究会規約改定案 (高橋)
 - 2)評議員会での審議事項
 - 3)全国講習会の開催について
 - 4)その他
- 11.平成 21 年度役員選出 (水野)
- 12.書記解任
- 13.議長解任
- 14.新役員紹介
- 15.閉会のことば (水野)

1号議案

平成20年度事業報告及び収支決算(H20.1～H20.12)

【I.事業報告】

〔学術活動〕

1. H20年日本神経生理検査研究会学術講演会

日時：2008年5月29日（木）

講演1. F波について

講師 遊佐 純教（釧路労災病院）

講演2. 脳神経外科手術における術中モニターリングの重要性

講師 上山 博康（旭川赤十字病院 脳神経外科部長）

2. 地区主催

1) 北海道地区

第42回神経生理検査勉強会 第12回 宿泊研修セミナー

テーマ『脳機能検査』－脳波検査と術中モニターリングについて－

場 所 国民宿舎新嵐山荘

10月11日（土）

講演1 『術中モニターリングについて－脳表刺激によるMEP 術中モニターリングを中心に－』

講師 佐藤 賢哉 技師（旭川赤十字病院 検査部）

講演2 『脳波トレーニング－九州大学病院での試み－』

講師 酒田 あゆみ 技師（九州大学病院 検査部）

講演3 『脳波検査実態調査報告－脳波検査アンケート結果－』

講師 安曇 慶子 技師（小樽セントラルクリニック 臨床検査科）

ナイトセミナーⅠ 必須実技講習会【神経伝導検査・誘発電位・頸部血管エコー・脳波判読・聴力検査】

ナイトセミナーⅡ 自由実習 【日常業務の疑問点を解決しよう！】

脳波、末梢神経伝導検査、大脳誘発電位、頸動脈エコー、聴力検査など

10月12日（日）

施設紹介 『釧路孝仁会記念病院』

講師 高柳 由佳 技師（釧路孝仁会記念病院 臨床検査科）

講演4 『ビデオ脳波からわかること』

講師 酒田 あゆみ 技師（九州大学病院 検査部）

2) 東北地区

特になし

3) 関東甲信地区

日時：平成20年10月11日（土）

第12回日本神経生理検査研究会関東甲信地区勉強会

テーマ「知っておきたい神経生理検査 -脳波とPSG-」

会 場 ：東京都立墨東病院新館「14階A講堂」

講義1 「脳波の判読に必要なてんかんの基礎知識」

講師：松阪市民病院 宇城 研悟 技師

講義2 「睡眠時無呼吸症候群をもっと知ろう ～小児から最近の話題まで～」

講師：大垣市民病院 石郷 景子 技師

4) 中部地区

日時 平成20年9月28日（土）

第10回日本臨床生理検査研究会

テーマ 幅広い神経生理検査技術を深めよう-認定技師を目指して-

場所 名古屋市立大学病院 研究棟11階講義室

講演1 聴力検査について-純音聴力、ABR、AABRなど-

講師 岡山安幸 技師（松阪済生会病院）

講演2 PSG検査について

講師 田中 夏奈（小牧市民病院）

講演3 神経伝導検査のハンズオン

講師 山内 孝治 (大隈病院)

5)近畿地区

特になし

6)中国四国地区

特になし

7)九州地区

■第6回 日本神経生理検査研究会九州地区講演会

日時：平成20年10月10日(金)

テーマ：「神経生理検査と末梢神経損傷」

1. 『末梢神経障害の保存的及び手術療法』

鹿児島市立病院 整形外科部長 牧 信哉 先生

2. 『臨床に役立つ神経生理検査の活用』

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科神経病学 有村 公良 先生

■第20回 臨床神経生理研究会(九州)

1. 研究発表

片山雅史(熊本機能病院)

世話人 酒田あゆみ(九州大学病院), 片山雅史(熊本機能病院)

【Ⅱ.平成20年度収支報告】

平成20年度収支決算書 (H20.1~H20.12) (会員数303名、内新入会60名)

収入の部

単位(円)

会費	155,250	20年度会費・入会金90,750円。なお今回名簿の詳細調査により判別できた19年度会費(64500)も合算計上した。
事業収入	48,000	平成20年度日本神経生理検査研究会講演会会費他
雑収入	340	預金利子
繰越金	213,000	
合計	416,590	

支出の部

事業費	153,000	平成20年度日本神経生理検査研究会講演会運営費 (講師料、会場費、たれ幕などを含む)
	5,000	インターネット事業
	5,000	表彰
事務費	30,000	会議費
	1,000	通信費
	10,000	一般経費
	5,590	消耗品費
小計	209,590	
次年度繰越金	207,000	
合計	416,590	

[註]会費および入会金について:会則に¥500とありますが、各地区の活動費として、その半額を還付し、本部会計は残りの半額を収入として計上している。

【Ⅲ.会員表彰】

特別賞

天理よろづ相談所医学研究所 瀬川義朗氏

論文(脊椎脊髄手術の術中脊髄機能モニタリング.臨床病理 2008;56)およびネットの管理に尽力された功績に対して表彰いたします。

2号議案

【平成20年度 監査報告】

[監査報告書]

平成21年 7月12日

日本神経生理検査研究会
会長 高橋 修 殿

平成20年度の監査を実施しましたので下記の通り報告します。

会計監査 石郷景子 (印)

記

- 1.会務について。事業計画を円滑かつ確実に遂行されていることを認めます。
- 2.会計について。会計収支に不正なく現金および通帳等は正確に整っていることを認めます。

3号議案

平成21年度事業計画および収支予算 (H21.1~H21.12)

【事業計画】

〔学術活動〕

H21年度日本神経生理検査研究会学術講演会

日時:平成21年7月30日(木)

場所:横浜市開港記念会館

講演1.「聴覚伝導路における生理機能検査」

講師 高嶋 浩一技師(自治医科大さいたま医療センター)

講演2.「日常診療から -電気診断の基本と考え方-」

講師 小森 哲夫先生(埼玉医科大学 神経内科 准教授)

1)北海道地区

■日時 平成21年6月20日(土)

場所 北海道エアウォーター株式会社講堂

内容 第44回神経生理検査勉強会

テーマ 顔面神経麻痺

講演1、「顔面神経の神経伝導検査」

講師 遊佐純教 技師(釧路労災病院中央検査科)

講演2、「顔面神経麻痺の診断・治療・リハビリテーション」

講師 古田康 先生(手稲溪仁会病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長)

■日時 平成21年9月26.27日

場所 北見地区温根湯温泉「温根湯ホテル」

内容 第45回北海道神経生理検査勉強会(第13回宿泊研修セミナー)

テーマ 「神経伝導検査と大脳誘発電位」

講師 山内孝治技師(医療法人大真会 大隈病院) 他

ナイトセミナー、施設紹介など

2)東北地区

未定

3) 関東甲信地区

第13回 日本神経生理検査研究会 関東甲信地区勉強会

日時:平成21年3月28日(土)

テーマ「知っておきたい神経生理検査 -脳波と神経伝導検査-」

会場 :東京都立墨東病院新館「14階 AB 講堂」

臨床神経生理学会認定試験について

市川市リハビリテーション病院 高橋 修 会長

講義 検査技師による脳波所見の書き方

講師:獨協医科大学 谷中 弘一 技師

「診断へのアプローチ(絞扼性神経障害)

ハンズオン「絞扼性神経障害検査のテクニック」

講師:東海大学医学部専門診療学系リハビリテーション科学教授 正門 由久 先生

4) 中部地区

■第11回日本神経生理検査研究会

2009年3月14日(土)

テーマ「神経生理認定技師資格に役立つ勉強会」

場所:名古屋市立大学病院 研究棟11階講義室

講演1 認定試験に出そうなMEの基礎知識

[講師] 山内 章弘 技師(藤田保健衛生大学)

講演2 脳波検査の基本的な考え方(問題形式)

[講師] 奥田 佳那子 技師(松阪市民病院)

講演3 神経伝導検査のハンズオン

[講師] 坂下 文康 技師、向井 理香 技師(三重県立総合医療センター)

■第12回日本神経生理検査研究会(中部地区)

テーマ「基本に戻って検査法を考えてみよう」

開催日時:平成21年9月26日(土) 13:00 ~ 17:40

場所:名古屋市立大学病院 研究棟11階講義室

講義1「神経生理検査を行う環境と心構え」

宇城研悟(松阪市民病院)

講義2「神経伝導検査における測定時の注意点」

坂下 文康 (三重県立総合医療センター)

講義3「目的にあった脳波検査～賦活法、アーチファクト、発作時の対応～」

石郷景子(大垣市民病院)

5) 近畿地区

第3回関西脳波・筋電図セミナーへの参画と協力。

6) 中国四国地区

未定

7) 九州地区

臨床神経生理研究会(九州)および熊本脳波懇話会への参画・協力

熊本県にて第7回九州地区講演会(熊本脳波懇話会と共催)を予定

8) 全国講習会の開催企画

当会では、毎年、日臨技学術大会に合わせて、[学術講演会]と[総会]を行ってきた。会員が最も参加しやすいと思えた期間を選んだためです。しかし、学会前の慌ただしい時間帯の中で、これら2企画を実施するのは短時間であり、そのため重要な提案などに十分な審議討論を経ないまま保留している案件が少なからずあると思われる。今回、日臨技の学術大会とは別の日程で[全国レベルの講習会]の開催を提案し、21年度は、開催時期、場所、プログラムなどを検討準備する年としたい。

〔渉外活動〕

1. 日本臨床神経生理学会認定制度に対する関連団体としての確立。
2. 神経生理検査の出版に関するアプローチ。
3. 各関連学会や団体との連係。

【平成 21 年度収支予算】

平成 21 年度収支予算書 (H21.1.~H21.12.)

総会にて会期変更となれば、今年度のみ変則的に H21.4.~H22.3 となる)

収入の部

単位 (円)

会費	100,000	会費、入会金
事業収入	77,000	平成 21 年度日本神経生理検査研究会学術講演会 (会費 ¥1000x67 名, 非会員上乗せ ¥500 x 20 名)
雑収入	0	
繰越金	207,000	
合計	384,000	

支出の部

事業費	150,000	H21 年度学術講演会・総会運営費 (講師料 ¥35000 医師・ ¥10000 技師, 会場費 ¥5800, たれ幕ポスター類 (3) ¥5200, 印刷代諸経費 ¥35000, 実務委員活動費 (14) ¥28000, 予備費 ¥30000)
	15,000	インターネット事業
	10,000	表彰
事務費	30,000	会議費
	10,000	通信費
	30,000	一般経費
	10,000	消耗品費
小計	255,000	
次年度繰越金	129,000	
合計	384,000	

[註] 会費および入会金について: 会則に ¥500 とありますが, 各地区の活動費として, その半額を還付し, 本部会計は残りの半額を収入として計上している。

4 号議案

【一般議題】

1) 日本神経生理検査研究会規約改定案

発足当時のやや現状に一致しない文言や, 正確に伝わりにくい文章など見直し, 訂正変更・削除・追加を提案した。下記の表中, 現会則の下線部分を改正 (案) とした。

	現会則(2008 年度版)	改正案	理由
1	第 2 章 目的および事業 第 3 条 1) 本会は末梢および中枢神経, 筋における電気生理学的検査, および, これに関連する機能検査や画像検査についての研究, 学習, および技術の向上・研磨, 教育を目的とする。	本会は神経生理学的検査, および, これに関連する機能検査や画像検査についての研究, 学習および技術の向上, 研磨, 教育を目的とする	拡大する神経生理検査を網羅する。
2	第 3 章 会員 第 5 条 会員の種別は以下の通りとする。 1) 正会員 本会の目的に賛同協力する臨床検査技師および技術者。 但し, 技術者とは大学, 短大, 専門学校を卒業し, 神経生理検査に従事または関連する業務についている者とする。	下線部削除→ 但し, 技術者とは神経生理検査に従事または関連する業務についている者とする。	いかなる出身の技師であっても受容できる文言とした

3	(入会) 第6条 2) 事務局は、入会手続きが完了したものに <u>会員証を発行する。</u>	削除	会員証発行は望ましいが事務手続き煩雑であり現状に合わせた。ただし、今後、会運営がより円滑になれば復活させる。
	(会費) 第7条 本会の会費は次の通りとする 1) <u>正会員 500円/1年</u>	→1) <u>正会員 500円/1年</u> . 前納制とする.	前納制を明記した。なお、2年分を前納するのではない
4	(資格および権利) 第8条 3) <u>正会員は本会運営の神経生理検査MLに入会する資格</u>	[ML] → [メーリングリスト]	省略形は紛らわしいので
5	(役員) 第10条 1) 本会は次の役員を置く。 2) 会長は副会長、事務局長、会計を任命する。	3) 執行部役員は、会長、副会長、事務局長、会計とし、本会の会務を分担し執行する。	執行部という区分を追加した
6	(会長の選出) 第11条 会長は <u>評議員</u> の議を経て、選出された後、総会において承認されるものとする。	[評議員] → [評議員会]	
7	(評議員) 第12条 1) <u>会長の命により、本会の発足に至り、理解・賛同し、当会の運営に協力する意志をもった有志若干名を初代評議員とする</u>	12条 1)を削除する。 また、 第12条 1)削除により、 2)→1), 3)→2), 4)→3), 5)→4)のように枝番を順次繰り上げる。	発足当初は必要であったが、不明確なため
8		第12条5)に『評議員会の議長は会長、副会長または会長の任命者が務める』の条文を追加。	
9	第12条 7) 評議員は原則として、 <u>三役</u> および地区代表者により構成され、会長が会に対して必要と認めた若干名が加わる。	[三役] → 執行部に変更。 以後の [三役] という区分は、すべて [執行部] に変更する	限定された [三役] という区分より、活動単位の [執行部] の方が含みがあり適用が広い。
10	(役員の任期) 第14条 1) 役員の任期は3年とする。但し、 <u>再任</u> を妨げない。	再任 → [重任] へ	再任は解任後一定期間の休職がある場合。 重任は、休職期間がない場合であり、現状に合わせた
11	(総会) 第15条 1) 総会の議長は <u>三役</u> より選出する。のいずれかとする。	三役 → [執行部]	
12	(総会) 第18条 1) 総会は正会員の10分の1以上の出席がなければその議事を開き、議決することができない。但し、当該事項につき、書面または <u>委任状</u> をもってあらかじめ意思を表示したものは出席者とみなす。	委任状 → 委任状 (書面, FAX, 電子媒体 (PDF, 電子メールなど))	本会が会員は全国に散在しかつ少数であることを考え、電子メールでもOKであると明記した。
13	(会計年度) 第21条 1) 本会の事業年度は <u>毎年1月1日より12月31日まで</u> とする。	毎年4月1日より3月31日まで	社会的な年度に合わせるとともに、勤務先変更などをスムーズにするため

14	第7章 会則の変更 第25条 1) 本会会則の変更は役員会の議を経て、評議員会における出席者(参加者)の過半数の賛成、および総会における議決を得なければならない。	[役員会] → [執行部] [評議員会における出席者(参加者)] → [評議委員会の].	役員会は多数の人数であり、できるだけフットワークのある機能的単位に変更
15	付則 1 本会会則は2002年(平成14年)5月16日より実施する。	以下を追加する [補遺 平成17年5月12日、平成16年度総会にて一部改訂。 補遺 本会会則は2009年(平成21年)8月1日、平成20年度総会にて一部改訂.]	会則変更の履歴をしっかりと残す

2) 評議員会での審議事項

1. 認定制度に関する研修会
2. 会員の把握と会費徴収
3. 会長選について
4. 評議員について

3) 全国研修会開催の意義や時期・開催地の検討を行なう。また、総会と同時開催か否かを検討する。

5号議案 2009年役員選出

2009年度日本神経生理検査研究会役員候補

1. 執行部役員

会長	高橋 修	(市川市リハビリテーション病院)
副会長	片山 雅史	(熊本機能病院神経生理センター)
副会長	水野 久美子	(名古屋市立大学病院)
事務局長	○瀬川義朗	(天理よろづ相談所病院)
会計	河島 江美	(北里大学病院)

2. 地区代表者

北海道地区	遊佐 純教	(釧路労災病院)
東北地区	門馬 留美子	(広南病院)
関東甲信越地区	高橋 修	(市川市リハビリテーション病院)
中部地区	○石郷 景子	(大垣市民病院)
近畿地区	佐々木 一朗	(神戸市立中央市民病院)
中国・四国地区	片山 雅史	(熊本機能病院神経生理センター)
九州沖縄地区	○酒田あゆみ	(九州大学附属病院)

3. 評議員(順不動・敬称略) 12名

○高橋 修	(市川市リハビリテーション病院)
○片山 雅史	(熊本機能病院神経生理センター)
○水野 久美子	(名古屋市立大学病院)
○瀬川義朗	(天理よろづ相談所研究所)
○河島 江美	(北里大学病院)
遊佐 純教	(釧路労災病院)
門馬 留美子	(広南病院)
○石郷 景子	(大垣市民病院)
佐々木 一朗	(神戸市立中央市民病院)
酒田 あゆみ	(九州大学附属病院)
菅野 彰剛	(広南病院療護センター)
齋藤 江美子	(丘整形外科病院)

4. 会計監査

石郷 景子 (大垣市民病院)

5. インターネット運営委員(順不同・敬称略)

瀬川 義朗 ((天理よろづ相談所研究所)

古島 健次 (熊本機能病院神経生理センター)

6. 表彰推薦委員

片山 雅史 (熊本機能病院神経生理センター)

岡田 豊治 (北斗病院)

水野 久美子 (名古屋市立大学病院)

菅野 彰剛 (広南病院療護センター)

長田美智子 (山梨大学病院)

高嶋 浩一 (自治医科大学さいたま医療センター)

7. 事務局補佐 (全国研修会準備担当)

宇城 研悟 (松阪市民病院)

植松 明和 (国立病院機構国際医療センター戸山病院)

[註：名前の先頭 [○] は、平成 21 年度より新役員です]

[註：上記役員は、新人で 1 期目、 2 期目、 3 期目を含み在任期間が同一ではありません]

2009. 7. 22

-----切り取り線-----

委任状 (FAX用) メール利用も可

私は議長を代理人と定め、平成 21 年 7 月 30 日に開催されます、
平成 21 年度日本神経生理検査研究会総会にて、議案書に掲載された、
全議案の決議権を行使する権限を委任します。

所属地区：(北海道，東北，関東甲信越，中部，近畿，中国四国，九州) ○で囲む

施設名： _____

氏名： _____

委任状FAX送付先 (0743-62-0525) 天理よろづ相談所研究所 瀬川義朗宛